

3

March
2019

HOPPY BEVERAGE CO., LTD. SINCE 1905

HOPPY

★ MAGAZINE ★

I S S U E
No. 055

【ホッピーマガジン】 第55号 2019年3月発行

Cover Story

Be HAPPY with HOPPY!

いまこそ真剣に考えたい、環境と健康のこと



環境

健康

Be HAPPY with
HOPPY!

クールチョイス

リサイクル

ホッピーといっしょに、
いまこそ「環境」と「健康」について考えてみませんか

「Be HAPPY with HOPPY!」には、ホッピーを通じて広い意味で幸せになる・幸せを手にいれる・幸せを実現させる、という想いを込めています。ホッピービバレッジは創業1905年の当初から、天然もの・健康・環境にこだわりを貫き、ものづくりをしてきました。近年、世界各地を襲う異常気象、続出する自然災害を目の当たりにしていると、私たちの奇跡の星「地球」が悲鳴を上げていることが痛いほど分かります。また、環境破壊が進むにつれ、私たちの健康も蝕まれています。アトピー性皮膚炎や気管支喘息、アレルギー性鼻炎（花粉症）、食物アレルギー、免疫疾患などは、環境汚染物質によって引き起こされている健康への影響といっても過言ではありません。古代ローマの詩人ユウェナリスは、「健全なる肉体の中に、健全なる心」と説きました。しかしいまとなっては、心も体も、同時に健全にしていかなければ、地球も人間も持ち直せないところまで環境破壊と健康被害が広がっています。いまこそ、「環境」と「健康」について、ひとり一人が真剣に考え、生活の中で改善のために実際に取り組まなければなりません。今特集がその一助になることを祈っています。



Be HAPPY with
HOPPY!



WHAT is COOL CHOICE?

「賢い選択」エコライフのすすめ

環境にも健康にもいい暮らし方を選ぶ。

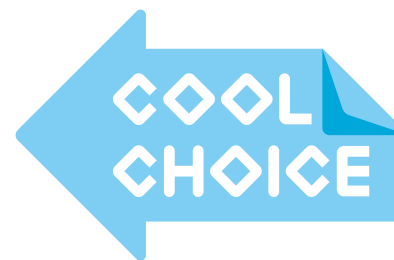
その選択を「COOL CHOICE」と定義する活動があります。

選ぶからには、まず、知らなければなりません。

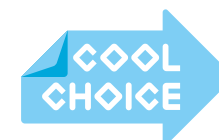
ホッピービバレッジが賛同するこの活動について、まずは知ってください。

Text: Kei Itaya

COOL CHOICE ロゴマーク



未来のために、いま選ぼう。



未来のために、いま選ぼう。



未来のために、いま選ぼう。



ホッピービバレッジが取得した
COOL CHOICE 賛同証明書。

「COOL CHOICE」とは、2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしようという取組のことです。環境省が推進するこの運動に、ホッピービバレッジは2016年7月26日に賛同を表明、以来、この活動の普及啓発に注力しています。

この100年で日本の平均気温は摂氏1度上がり、その大きな原

因はCO₂（二酸化炭素）排出の増加といわれています。世界の人口は約75億人。地球温暖化を加速させているのは、増加する人間の生活はもちろん、その経済活動による自然環境の破壊といっても過言ではありません。環境破壊による牙は、異常気象の増加など目に見える形で私たち人類をはじめ生きとしけるものに警笛を鳴らしています。私たちはいまこそ、地球のために、未来のために行動し生活をしなければなりません。

島国の日本は、資源が限られているからこそ閃くことができた賢

い省エネアイデアと、それを具現化する最先端技術を持っています。その二つが合わさった「次世代の暮らし方」を選んでいくことが、CO₂を抑える力となります。消灯、温度設定、節水などの普段の生活の知恵に、食料品や飲料品、車、家電、住宅などを選ぶときにも「環境配慮」を考える。その小さな選択は「賢い選択」として積み重なり、現状の改善に繋がります。

1905年創業のころから、ホッピービバレッジは常に「環境への配慮」を第一に、商いをしてきました。製品の容器にガラスびんを選んでいるのは、ガラスびんがおいしさを保つ・引き立てるのに最も適しているからもありますが、もうひとつの大きな理由は、ガラスびんが省資源・省エネルギーの容器だからです。

2019年は環境保全元年。ホッピーマガジンでは今後、「COOL CHOICE」のますますの広がりを後押しすべく、舞台裏で活動する方々のお話と想いをお届け。賢い選択エコライフのすすめ「HOPPY × COOL CHOICE」は次号より連載開始予定です。お楽しみに！





ガラスびんのいいところ

繰り返し使っても品質が劣化することなく

リサイクルとリユースを永久的にできるガラスびんは、省資源・省エネルギーの鑑。

そんなガラスびんをホッピービバレッジでは「時空を超える容器」と呼んでいます。

ホッピーのリターナブルびんとワンウェイびんを例に、ガラスびんのいいところとその可能性について

日本ガラスびん協会の吉永茂樹専務理事が教えてくださいました。

Text: Kei Itaya

何気ない日常生活に「気づきや変化」をくれるのが、ガラスびん。



日本ガラスびん協会
吉永茂樹専務理事

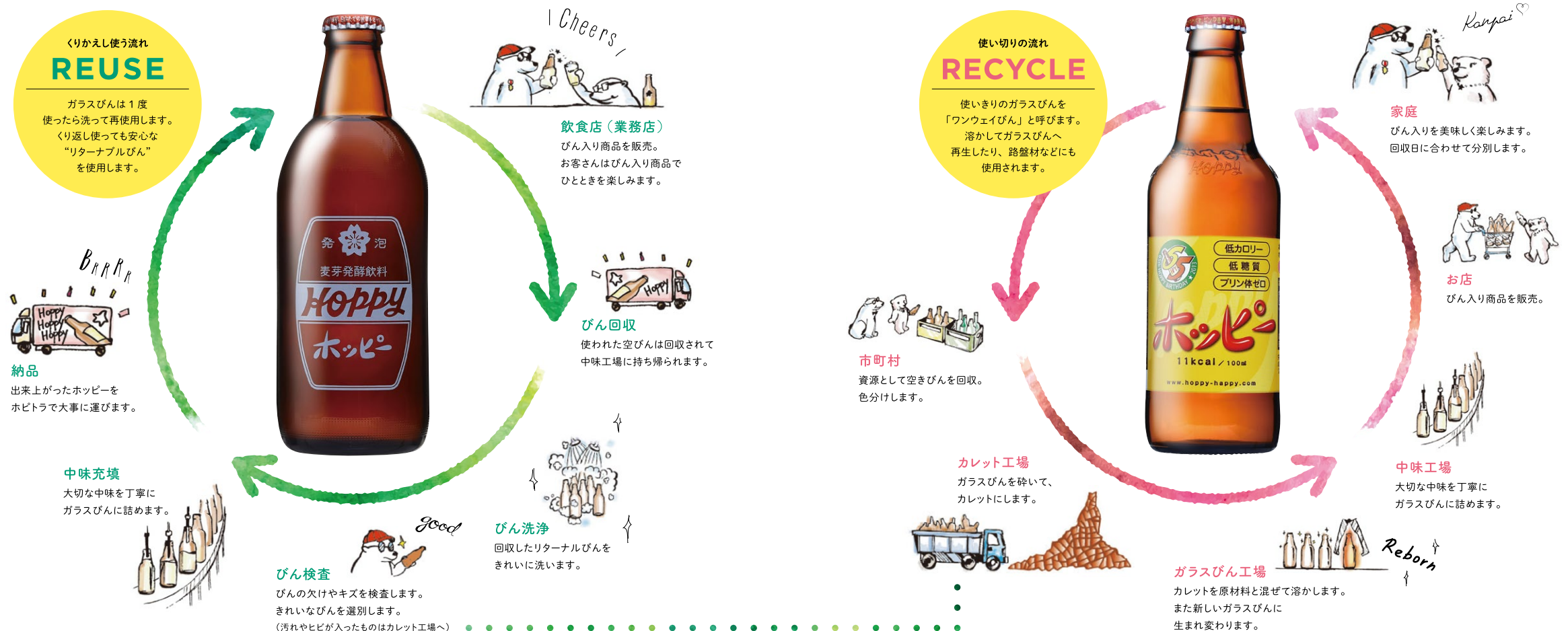
1952年に設立された日本ガラスびん協会。業界の窓口役として、日々ガラスびん製品の利用啓発並びに利用情報の収集と提供に尽力しています。「ガラスびんの歴史は3,500年前にも遡るといわれ、まさに人類とともに歩んできた容器」と話すのは、同協会の吉永茂樹専務理事。日本は戦後の高度経済成長を背景に合理性や利便性を追求

する社会構造のなか、他素材容器の使用が増え、ガラスびんは減少。しかし、これからは地球環境について誰もが真剣に考えなければならない時代。ガラスは中味への溶出もなく安全、中味が見えるので安心という点でガラスびんは断然強い。「経済合理性だけではなく、容器と中味との相性を考え、棲み分けすれば環境保護にもつな

がります」と専務理事。

さらに「ガラスびんにはクラフト感や商品へのこだわりといった付加価値もあり、何げない日常生活に気づきや変化を与えてくれるのもガラスびん。その魅力も伝えていきたい」と語ってくれました。

日本ガラスびん協会ホームページ <http://glassbottle.org>





R R R

R e d u c e R e u s e R e c y c l e

最強の三つ巴

3R

選ばれるガラスびん

3Rとは、循環型社会の形成を目指した取り組みのこと。
Reduce（リデュース：軽減する）、Reuse（リユース：繰り返し使う）、
Recycle（リサイクル：再資源化する）の頭文字をとって、
3R（スリーアール）という言葉が生まれたのは、ここ30年ちかくのことです。
ガラスびんは、この言葉が生まれる前から環境のことを考えてきました。

Text: Kei Itaya

中身をしっかり守る密封性や保存性など、容器としてたくさんの優れた特性を持つガラスびん。地球上にある天然素材からできているため、人体にも安全・地球にも優しいことが、ガラスびんの最大の魅力です。

さらに、ガラスびんは、バージン原料（新しい原料）をほぼ必要とせず、何度も生まれ変わることができる容器。1年間に排出されるゴミの約6割が包装のための容器といわれている昨今、容器のゴミを減らせば、ゴミ全体の減少に、省資源化に貢献できます。だからこそ国全体で、容器のリサイクルに徹底的に取り組んでいます。ガラスびんは、3Rという言葉が生まれるずっと以前から、環境配慮型の容器でした。



ホッピーのガラスびんには店舗用と小売販売用で2種類あり、それぞれリユース、リサイクルされます。

ガラスびんって何からできている？

そもそも100%天然素材 だから人にも地球にも優しい

ガラスびんの主原料は、けい砂・石灰石・ソーダ灰と空き瓶を砕いたカレット。地球の地殻の組成とほぼ同じ成分で、100%天然素材。だからこそ、人にも地球にも優しく、安心して何度も使うことができます。



天然資源で安心・安全、かつ資源の再利用化に適しているガラスびん。その元来のポテンシャルで、より環境問題に貢献していくには、私たちが「ガラスびんを選択する」という行為を必要としています。ガラスびんが選ばれない理由には、「重い」「割れる」が挙げられますが、重いからこそずっし

りした安定感を届け、割れるからこそ「大事に使う」というモノへの想いを育む一助にもなります。もっと選ばれる容器になるために、設計・生産技術の進歩により軽量化と耐久性の強化も進んでいます。

ガラスびんはこれからも、厚みを薄くし軽くすることで資源利用のReduce（軽減）、そしてリターナブルびんでReuse（再利用）、空きびんをびんの原料などにするRecycle（再資源化）に貢献。私たちひとりひとりが、「環境に最も優しい容器」として進化するガラスびんを選ぶことが、循環型社会形成にも繋がります。日々の生活にもっと、ガラスびんを取り入れてみませんか？



HOPPYも2019年カレンダー&DMで、エコライフのススメをご紹介！

ホッピービバレッジも、環境問題に取り組むCOOL CHOICE（P4-5参照）に賛同し、普及啓発に尽力しています。今年の卓上カレンダーには「HOPPY ECO TRIVIA」を設け、「レジ袋からマイバックに」、「積みっぱなしと車の燃料の関係」、「ライトダウンのすすめ」など普段の生活で取り組める、地球を守る力になる環境に良い暮らし方をご紹介します。また、ホッピーくまのDMでも、メッセージとともにエコライフのすすめをお届けしています。



「健康」と「おいしい」に妥協しないメンバー。左から立川志らさん、山田悟先生、橋田ベッカー正人さん、安原淳雄さん、佐竹真綾会長、石渡美奈。

ロカボできれいに 楽しくスマートライフ!!

1月20日、ニッポン放送のイマジンスタジオで行われた
「看板娘ホッピーミーナの Hoppy Happy Bar」の公開収録イベントの様子をレポートする。

Photo: NiRai / Text: Kazumi Kabumoto

今回の公開収録は、お好み焼き検定10周年とホッピー発売70周年を記念したコラボレーションイベント「2019年、ロカボできれいに楽しくスマートライフ!!」として開催。トークゲストに、北里大学北里研究所病院糖尿病センター長である山田悟先生、大阪の北浜エリアにあるお好み焼きArAKAの店主である安原淳雄さん、若竹学園の学園長で、にっぽんお好み

焼き協会の会長を務める佐竹真綾さんの3名を迎えた。会場には、“お好み焼き検定上級ホルダー”の皆さんを招待、ロカボをテーマにした低糖質のお好み焼きの試食会と、プリン体ゼロで低糖質のホッピーを使ったオリジナルカクテルの試飲会も開かれた。

オープニングアクトでは、プロパーカッショニストで上級ホルダーの橋田“ベッカー”正人さんに

よるミニワークショップが行われ、カラーバトンを使ったリズムセッションに会場は大盛り上がり。

公開収録で山田先生は、この10年で栄養学が大転換したと前置き、「健康食＝粗食というかつての常識が覆り、ロカボを知れば美味しいものを食べて飲んで健康になれる」と語った。ここでいうロカボとは、緩やかな糖質制限食のこと。1食あたりの糖質を20

～40グラムとして1日3食、それとは別に嗜好品で1日10グラムの糖質を摂取するという食べ方だ。素材さえ工夫すれば、お好み焼きもしっかり食べることができるという話が印象的だった。

安原店主は、お好み焼きに合う「お好み焼きワイン」の開発にも尽力するなど、お好み焼き業界を盛り上げるひとりでもある。今回のために、お好み焼きとマッチするホッピーカクテル2種類を発売。お好み焼きワインを合わせた「AY the 1st (エーワイ ザ ファースト)」は、開店当初よりホッピーを扱ってきた安原さんならではの想いもあり、「大阪発のホッピーカクテルを作りたいかったです」と愛情たっぷりに紹介。ちなみにカクテル名は「Atsuo Yasuhara (AY) が初めて作ったカクテル」という意味だ。一方、シェリー酒を使った「EN_Fusion (イーネ! フェュージョン)」には、江戸(E)と難波(N)の融合というメッセージが込められたという。最後に安原さんは、「将来は、東京

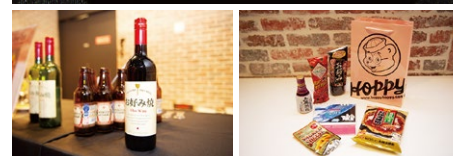


行われたラジオ番組収録は、3本とも「ロカボ」にまつわる食と健康についてで、観覧者であるお好み焼き検定上級者は興味深そうにゲストの話を傾けていた。収録の間には懇親会も。

や海外にも店舗を出して大阪の食を広めたい」と目を輝かせていた。

佐竹さんは、2018年に2018人がお好み焼き検定に合格したことを報告、協会が10周年を迎えたこ

とに感謝の意を表した。今回、佐竹さんが考案したお好み焼きは、糖質オフのお好み焼き粉と、チーズやウインナー、ねぎなどの食材を使用。ソースはトマトジュースで伸ばしたり醤油に置き換えたりするなど、ちょっとした工夫で美味しくヘルシーな低糖質のお好み焼きに大変身させた。「お肉やチーズは低糖質なんですわね」、「ロカボと聞いて、ストイックなイメージがありましたがガマンしている感じがしない」と、会場からは驚きの声もあがっていた。近年、「食」を目的にした海外からの旅行者も多く、お好み焼きも上位にランクインしているという。2020年の東京オリンピック、2025年には大阪万博も控えている日本。佐竹さんは、いっそう美味しくヘルシーな日本の食文化を広めていきたいと展望を語った。



イベントでは、糖質オフのお好み焼き粉を使用した「ロカボお好み焼き」とそれに合うホッピーカクテル2種が振舞われた。自宅で手軽に楽しんでもらおうとお土産も用意され、参加者に喜ばれた。



BE HAPPY WITH HOPPY

いまこそ、奇跡の星「地球」のためにできることを

しあわせつないで114年

ホッピービバレッジ株式会社

www.hoppy-happy.com

満員御礼



Report!

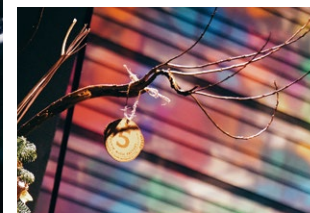
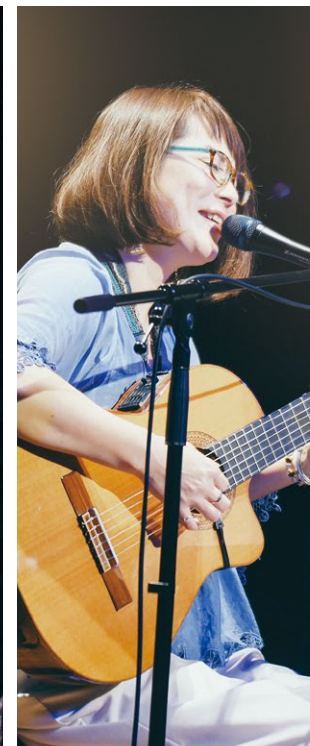
満員御礼! HOPPY HOUR 5!! レポート

シンガーソングライターの構 康憲（かまえ やすのり）さんがプロデュースする音楽ライブイベント「HOPPY HOUR!!」。

ゲストアーティストにビリーさん、イダセイコさんを招き記念すべき第5回が、昨年12月7日に

ヤマハ銀座スタジオで開催された。満員御礼となったライブイベントをレポートする。

Photo: NiRai / Text: Kei Itaya



音楽、そしてホッピーを愛するミュージシャンによるライブイベント「HOPPY HOUR!!」（以下、HH!!）。5回目となる今回のステージは、年末の煌びやかな銀座。プロデューサーで歌手でもある構さんは特別な想いでこの日を迎えていた。すっかりお馴染みとなっている

当日限定で振舞われるホッピーのオリジナルカクテルの発案も構さん。「今回は『真-しん-』という名にしました。これまで、『縁-えん-』、『動-どう-』、『扉-とびら-』と続き、5回目をもって『真』のイベントになれる、なれたのではないかという想いを込めて名付けました」と語った。

さくらんぼのブランデーをベースにしたボルドー色のカクテルは味も見た目も大人の仕上がりで、クリスマスの銀座にぴったりの一杯となった。

ステージの幕開けを飾ってくれたのは、ゲストアーティストのイダセイコさん。続いてビリーさんが歌い

繋げ、構さんにバトンタッチ。それぞれが自身のオリジナルの楽曲はもちろん、耳馴染みのある名曲のカバーも披露し、観客は「三人三様のソロステージ」に酔いしれた。

フィナーレには3人がステージに登場し、2018年に発売70周年記念を迎えたホッピーのために構さ

んが手がけた楽曲『Be HAPPY with HOPPY』を熱唱。観客も手にしたサイリウムを歌とメロディに合わせ左右に振りながら応え、ステージと観客席が一体化。会場は「ハッピー」で包まれていた。

5回という節目をつけたHH!!がこれからどう進化していくのか。音楽

が与えてくれる幸福を信じているからこそ、次回も楽しみでならない。

イベント
ビデオを
チェック!

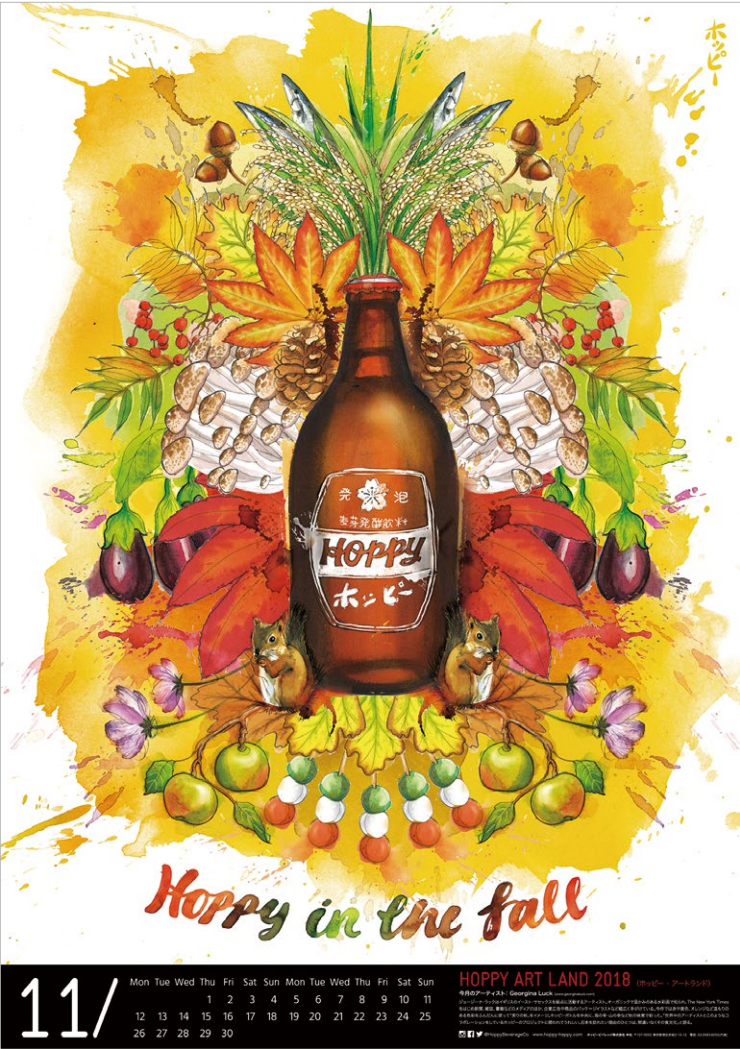
HH5 Facebookページへ



HOPPY ART LAND

ホッピー アートランド

HOPPY ART LAND は、2016 年に始まったホッピービバレッジと世界中のアーティストによる、コラボレーション
カレンダープロジェクト。プロデュース&アートディレクションはニューヨークを拠点に活躍する日本人アートディレク
ター Fuko Chubachi 氏。ホッピーをインスピレーションにアーティストが自由に描いた世界をお楽しみください。



Georgina Luck

ジョージナ・ラック



ジョージナ・ラックはイギリスのイースト・サセックスを拠点に活動するアーティスト。オーガニックで温かみのある水彩画で知られ、The New York Timesをはじめ新聞、雑誌、書籍などのメディアのほか、企業広告や商品のパッケージイラストなど幅広く手がけている。今作では赤や黄色、オレンジなど温もりのある色彩をふんだんに使って「実りの秋」をイメージ。ホッピーボトルを中央に、海の幸・山の幸など秋の味覚で彩った。「日本を訪れた理由のひとつは、間違いなくその食文化」と語る。



Mario De Meyer

マリオ・デ・メイヤー



マリオ・デ・メイヤーはベルギーのヘントを拠点に活動するアーティスト。幾何学的でカラフル、ダイナミックな動きと丸みを感じさせるタイポグラフィで知られ、企業広告をはじめFortuneやWiredなど雑誌メディアなどへも作品を提供。今作では、HOPPYの英文字を立体的に描き、赤や茶色、黄色など暖色系のカラーパレットで彩り、雪の結晶や星などホリデーシーズンを連想させるパターンを散りばめ、HOPPYの文字を際立たせた。「日本のものづくりへの情熱、準備、そしてそのお披露目。ほかに類をみないこだわりの姿勢から学ぶことは大きい」と語る。



「中小の生き残りをかけた分野法編 5」

分野調整法を基盤にした、我々中小の飲料製造業の生き残りをかけた大手企業への働きかけは、全国の仲間が手を取り合ったまさに総力戦だった。

例えば、新潟の仲間は新潟選出の国会議員を紹介してくれた。のちに農林大臣になった佐藤隆さんだった。議員事務所に彼を訪ねて我々の窮状を話すと、彼はその場で農林局長に「今、こういう人をそちらに向かわせるから、よく話を聞いてやってくれ」と電話してくれた。私はその足で農林局長のところに出向いた。

偶然なのだが、佐藤氏の事務所の人たちは、当時うちのビルの一階にあった焼き鳥屋「若大将」の

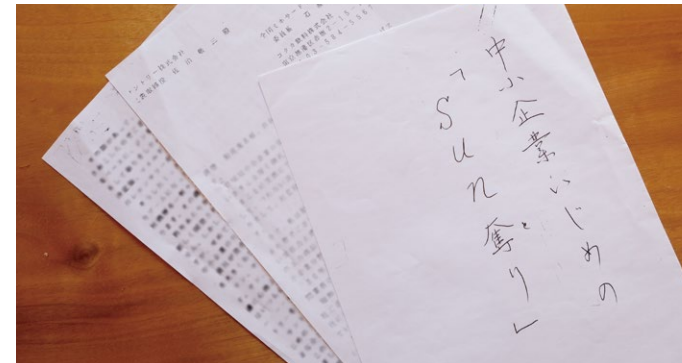
常連だった。それでたちまち事務所の皆さんとも仲良くなった。佐藤氏の属する派閥が催す赤坂プリンスでの朝食会にも何度かお邪魔したこともある。佐藤氏は、「中小のやっтерことを大手が真似してどうするんだ」と怒ってくれた。その一方で四国出身の某議員には、「誰が何をやろうと自由だ」とけんもほろろの門前払いを食らわされた。我々中小のことなどちっとも考えてくれず、それはそれは憎らしかった。

またある時は、大阪の仲間から僕のところに連絡が入った。サントリーの社長佐治敬三さんの講演会がこれからあるので、焼酎割り飲料部会の部長として直訴文を書

けとって来た。それを直接手渡しするのだという。あまりに熱心に勧めるので書かざるを得なくなった。どうせ書くなら面白く書いてやろうと、案を巡らせた。

当時「ビューティフルサンデー」という歌が大ヒットしていた。しかも、ちょうど赤坂小学校の日照問題にも関わって「子供達から太陽を奪わないでください」と運動もしていたし、色々太陽（SUN）が絡んでいるので、閃いた。あまり強硬に言い立てるのではなく、相手を立ててユーモアを交えて書いたのが『中小企業いじめのSUN奪り』という一文だった。「私達に心地よい酔いを提供していただいているサントリー、私達も愛飲しています。焼酎割り飲料は私たち中小の心の太陽です。サントリーさまが中小企業の分野に進出されると、弱いものいじめの“SUN奪り”になりかねません。どうか私たちに小さな小さな太陽を残してやってください」と書いた。結局この直訴文は、佐治さんの手には渡らなかったが、我ながらいい出来だったと今でも思っている。

当時サントリーとは、タコハイ用ソーダを巡って交渉中だった。我々としてはこれの販売を取り下げてもらいたかった。何度目かの会合で、サントリー側の担当が代わり、ちょうどフランス駐在から日本に戻ってきたばかりのYさんという方が担当になった。彼は、



手渡すことなく終わった、佐治さん宛てに書いた直訴文

「中小が困っていることはやめますよ。すぐにやめます」と言ってくれた。これには我々はみんな手を取り合って喜んだ。「本当に？ではそれを文書にして出していただけですか」と畳み掛けると「ああいいですよ。来週にでもお出しします」と言ってくれた。

しばらくして、サントリーの赤坂本社に来てくれというので、全国清涼飲料協同組合連合会の西尾理事長以下、僕も含めて3、4人で行った。そこにはサントリーの常務が待ち構えていた。常務の隣にはYさんも控えていた。常務はいきなり僕らに切り出した。「うちの社員には、そんなバカなことを言う人間は一人もいねえはずだ」。一瞬あっけにとられた。言った本人の目の前でこのタンカだ。フランス帰りの部長Yさんだって身を凍ませるだけ。そのくらい常務の居丈高な物言いはすごかった。仮にも大手企業の部長という立場が

あるのだから、僕らの目の前で、間接的にせよ頭ごなしに怒鳴りつけるなんて普通はしない。初めて会って開口一番、なんの話もしないうちに怒鳴り出しちゃったから、僕らはあっけにとられちゃった。反論すればYさんの立場がない。Yさんに向かってあんた言ったでしょなんて言えない。Yさん困っちゃうから。それに、常務だって困っちゃう。自分の部下が言っていることになっちゃうからね。振り上げた拳の下ろしどころがなく なっちゃう。だからしょうがないから、僕らはみんなただ押し黙ったまま何も言わなかった。

今日のところはそのまま帰ろうと腰を上げその場を辞した。そして、常務がエレベーターまで送ってきて、僕のところに来て、お前面白いやつだなと、こう言うんだ。それで僕は、ああこれはなんとかいけそうだなと思った。その後、サントリーはなし崩し的に

タコハイ用ソーダの販売はやめてくれた。正式に販売中止の知らせはなかったけれど、すーっと引いてくれた。

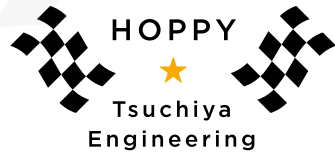
それからしばらく経って、ドイツのケルンでアヌーガ世界食品メッセがあり組合として14、5人で行ったのだが、その時にYさんも一緒だった。その後パリにあるサントリー館に行って、一緒にしこたま飲んだ。相当お金を払った記憶がある（笑）。それで、Yさんとはすっかり打ち解けて仲良くなった。いい人なんだ。だから、中小のためにとソーダの販売中止を受けてくれて、結果的にそれは成就した。パリでこうしてYさんとお互い胸襟を開いて飲めたことが僕はことのほか嬉しかった。おかげで、かなり酩酊しその後ムランルージュに繰り出したのだが、はじめからおしまいまで居眠りしちゃって、なんにも観ていない。



石渡光一
Koichi Ishiwatari

ホッピービバレッジ2代目、現会長。割飲料のバイオニアとなるホッピーを時代のうねりの中で育てつつ、地ビール事業も展開。赤坂ビール3種は2017年にモンドセレクション金賞を受賞。企業人としてだけでなく、赤坂氷川山車保存会を創設するなど、文化遺産を後世に継ぐ活動にも尽力する。

つちやエンジニアリング 2019年の挑戦



「技術」と「情熱」で 毎日1ミリでも前へ、その先へ 「最強のプライベーター」であり続けるために

2018年スーパーGT GT300クラスに参戦した、つちやエンジニアリング。優勝とチャンピオンには届かなかったが、ドライバーランキングで松井孝允選手と坪井翔選手は7位に、チームランキングでは8位にランクイン。全8レースで「最強のプライベーター」として存在感を放った。来期への想いを土屋武士監督に聞いた。

Photo: NiRai / Text: Kei Itaya

つちやエンジニアリングと#25 HOPPY MC 86の2018年の挑戦は終わった。年明けは、自身を見つめなおしたり、これからのための勉強の時間に費やしたと話す土屋武士監督。新年の抱負に「これからは心にゆとりを」ということを心掛けたためか、落ち着いて過ごすことで、さまざまな気づきがあったという。

立ち止まってまわりを見渡す時間

を一切とっていなかったことを挙げながらも、「だからこそ見る事ができた景色がある」とも。自身の状況や困難に対し真摯に向き合ってきたからこそ、偽りなく「いま」を受け入れ、新しい課題やチャレンジに挑めるのだろう。「もっとたくさんのことを吸収できる器の大きな自分にならなきゃダメだと思うので、もっと柔軟な頭になれるように勉強しま

す。毎日1ミリでも前に進めるように成長していきたい」と語った。

スーパーGT 2019シリーズの幕開けは、4月13日(土)と14日(日)の岡山国際サーキット。残り2ヵ月をきったRound 1を控え、チームは現在、粛々とレースシーズンに向けての準備を進めている。監督はいま、チームをずっと支えてきてくれたサポーターに今シーズンの意気込みを



宣言する直前で、その胸中にはさまざまな想いがある。

しかし目指すものはひとつ。焦らず、ただひたすら目の前の課題を克服し、壁を超えていくのみだ。本誌が読者のお手元に届くころ、今シーズンのキックオフイベントも終わり、チーム体制も発表され、チームの士気もますます高まっているころだ(レポートは次号に掲載)。

「やっぱりレースは最高。一人でも多くの人に、レースの魅力を感じてもらいたい、そんなレースをやっていききたい」。それが監督の原点。そのためには「技術」と「情熱」が大切で不可欠であり、プライベーターとして生き残るためにも必要で不可欠なものであるという。この二つを磨き続けることこそが、レースの存在意義にもつながる。

エンジニアでありチームオーナーでもある土屋監督に休みはない。「情熱や愛を頼りにやってきたし、本当にそれに支えられてやってこれた」と語る。彼は今日も「最強のプライベーター」としてのプライドと、「若手が成長できる環境をつくる」というブレない大義を掲げた責任から逃げずに「やりぬこう」と前を、その先を見つめている。



AT THE MOMENT

ホ ッ ピ ー 3 代 め

石 渡 美 奈 の

日 々 つ れ づ れ

| Vol.05 |

ゼロという数字は準備の数字。ゼロを抱く一年間はイチへ向かうための大事な準備の時間と昨年、50歳の誕生日を迎えた時に教えていただいた。

確かに昨年から動きは感じていた。そもそも、ホッピー発売70周年という大きな節目を夏を迎えたことが大きかった。感謝の集いを開催させていただいた2018年7月14日を迎えるにあたり「このパーティが終わったら、目に見えないけれどホッピービバレッジに新しい幕があがる。私たちの環境が必ず変わる。だからこれまでと同じ姿勢、心持ちではついてこれなくなるはず。意を新たに自身の仕事に精を出そう！」というメッセージを繰り返し、社内に出していたのも予感の一つだ。

思えば昨年の春、この日だけは来ないだろうと思っていたが、とある団体からの覚悟を決めての脱退決意からコトは始まったような気がする。11月には、5年間をかけて精魂込めて育ててきた赤坂食べ飲まの節目も迎えた。失いたくない存在を失うというショッキングな出来事もあった。平成の幕引きを象徴するかのように、昭和から平成にかけて活躍したスターが次々とこの世を去ったり、人気グループが解散

を決めたように、私にも思いもかけない「別れ」が重なった。人として心は傷ついたし、落ち込んだし、事実を受け止めて自身の心を整理するまでかなりの時間を要したこともあった。

他方で、それらの続くサインを「何かが始まる合図」とぼんやり感じていた。その「感覚」を支えたのが、新たに授かるご縁の数々だ。これまでだったらお会いできないような方にお会いできたり、お話をいただいたり。それらがすべて、51歳を迎える2019年の2月以降に向けて進められたことが不思議な符号に見えた。

社内の起点は、2019年2月5日。受け入れ態勢を整えたとなん、2019年2月16日が本当の起点日となった。あの日、沢山のことが同時多発した。それらが「夢物語」ではなく現実のものとしてすぐに動き出し、26日の誕生日直後に、私は実際に大きなサインをすることとなった。それが私の「イチ」を記した。

奇しくも5月に変わる元号。日本の新しい流れと共に、私もまた「イチ」という新しい流れで生きることが楽しみでならない。この幸せに感謝を捧げて、新たな一年もまた力強く、目一杯生き抜く所存である。

ゼロは「イチ」への準備時間。力強く、目一杯生き抜く。



人と食とともに歩いてきた
ホッピーにとって、
ホッピーを愛してくださる
店主との出会いは
宝そのもの。



別館の閉店をいまなお惜しむ声を聞く。HOPPY Summer 2019 はローズホテルにて開催予定。

今宵訪れる銘店は...

重慶飯店別館

食べ歩きや飲茶のメッカ、横浜中華街。

150もの店が立ち並ぶ賑やかな繁華街には、

「中華四千年の歴史」に代表される

さまざまなジャンルの中華料理店がひしめく。

重慶飯店は、四川料理に特化した中華料理店として

1959年にオープン。現在では全国16都市で店舗を構える。

来年、企業として「還暦」を迎える重慶飯店は今夏、

1968年にオープンした別館を閉館させる。その50年の歴史の

幕を閉じる別館と総支配人である安藤直昭さんを訪ねた。

辛さだけではない、
四川料理の繊細な味わい
届けて60年

横浜中華街大通りの入り口にそびえる善隣門を正面に右に曲がり歩くこと1分。重厚なエントランスに白壁が映える建物が、横浜中華街重慶飯店別館だ。賑やかな表通りの喧騒を遮断する上質な空間。ひとりであろうが大勢であろうが、天井の高い開かれた空間で食事をするこの特別感といったらない。

「50年前にオープンしたとき、こ

こ(1階)はダンスホールだったそうです。それを知る古いお客さまの中には、『生バンドも入っていてライティングもしてて、夜な夜な妖しい雰囲気だった』と教えてくれる方もいます」

そう笑って話してくれるのは、重慶飯店総支配人の安藤直昭さん。愛知県名古屋市出身の安藤さんは、名古屋店オープンの際に同社経営陣に加わり、その後、岡山店オープンにも尽力したのち、横浜中華街にある本館へ。以来ずっと、ここを拠点に全国16店舗を統括している。「あつという間の23年。昨年50年この

地にあった別館をたたみ、10月に本館が再オープンとなり、今年創業60周年を迎えました。50周年と60周年のはざまで、まさにシフトイヤーです」

四川料理といえば、花椒のしびれる、やみつきになるような辛さを連

想しがちだが、実際は繊細な味わいを持つ中華料理の一種。長江の流れに抱かれた肥沃な盆地で発達した四川料理は、コクのある独特な味わいで食通たちに愛されてきた。「調理方法も、ひとてまもふたてまもかけていて、コックさん泣かせなんですよ。



続きは
Webへ!

www.hoppy-happy.com



New York Journal

ニューヨーク・ジャーナル

Vol. 005

2019 March issue

By Keiko Tsuyama

ジャーナリスト津山恵子のニューヨーク通信

New York Journal
ニューヨーク・ジャーナル
Vol. 005
2019 March issue



津山恵子 Keiko Tsuyama

ジャーナリスト。ニューヨーク発で米社会および経済について「アエラ」「東洋経済オンライン」などに執筆。フェイスブックCEOであるマーク・ザッカーバーグ氏への単独インタビューも果たしている。著書に『教育超格差大国アメリカ』（扶桑社）、『カナダ・デジタル不思議大国の秘密』（現代書館）。2014年より長崎市長平和特派員。元共同通信記者。モデレーターとして講演会や自身が暮らすクイーンズのリッジウッド地区で夏祭りを主催するなどグラスルーツの異文化交流にも尽力。

Making Eco Friendly Choices for Our Mother Earth

ニューヨーカー、ミレニアル世代のエコ意識と実践に想う

No More Plastic Bottles

ペットボトルは要らない

新年の抱負をフェイスブックに書き込んだ。

「ペットボトルを買わない。喉が渴いても、水があるところまで行く。去年までは、出張中に限り買ってしまっていたけど、今年から我慢する」

最近よくニュースになっているが、打ち上げられた鯨を解剖したら、胃がプラスチックバッグとペットボトルで埋まっていたという。写真を見ると、とても心が痛む。そこで、しばらく前からマイバッグとマイボトルを持って歩いている。

チャレンジは新年明けてわずか1週間で襲ってきた。出張でワシントンD.C.のホテルに泊まり、夜中に喉が渴いて目が覚めた。マイボトルは空だ。ホテルのサービスで、ペットボトルの水は、デス



漂着ゴミには、ペットボトルやプラスチック容器が多く見られ、問題になっている。

クの上に2本もある。ワシントンの水道水は飲めるが、出張中に慣れない水道水を飲むのは避けたい。いや、でもペットボトルが誕生する前は、水道水を飲んでた。考えた挙句、水道水を飲んだ。ニューヨークの水道水と同じくらい、おいしかった。

夜中前であれば、ホテルのバー

に降りていき、バーテンダーにマイボトルをフィルターされた水で満たしてもらうこともできる。考えてみれば、5分ぐらいでできることだ。ペットボトルの蓋をパキッと開けた途端、環境破壊の片棒を担いしまう罪悪感に比べれば、5分などなんでもないだろうーと考えるようにした。

Environmental Benefits of Composting

生ゴミは堆肥に

マイバッグとマイボトルを持つようになったのは、今住んでいるニューヨーク・クイーンズ区に住む若者たちの影響も強い。

ある日、誰かが車を借りたので、少し遠くにあるオシャレなスーパーマーケット「トレーダー・ジョーズ」に行こうということになった。4人集まると、私も含めて全員がマイバッグを複数持参していた。

近所のスーパーでも、多くの若い人がマイバッグを持っていて、プラスチック袋をもらっているお客をちょっと睨んでいるような気さえする。ニューヨーク各地で開

かれているファーマーズ・マーケットに行くと、「バッグはいりますか？」と聞かれる。「はい」と言うのがはばかれる感じだ。

隣人JMは、生ゴミをジップロックに入れて冷凍している。いっぱいになると、少し解凍して、コンポスト（堆肥）にする生ゴミ収集専用のビン（共同ゴミ箱）に中身を出し、ジップロックは洗って再利用する。同じく隣人セシルは、ビンに生ゴミを入れた後に、生ゴミを入れていたプラスチック袋を一般ゴミに捨てるのを避けるため、コンポストの中で自然に溶ける袋をアマゾンで買っている。実は、私とJM、セシルが住むアパートは、大家さんの環境意識が低く、この生ゴミ専用ビンがない。だから、皆ビルを出て、お隣まで生ゴミを捨てに行くのだ。

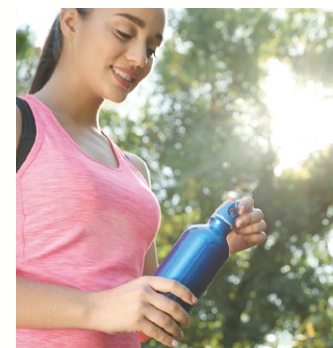
Brides Are Saying "No" to White Dresses

白いウェディングドレスは環境に悪い

今秋に結婚が決まっている友人ソーニャは、ウェディングドレスの色に紫を選んだ。理由は、「ウェディングドレスが白となったのは、昔は白いものを洗う技術がなかったから、一回でダメになっても白を着ることができるといふ富を見せつけるものだった。富の象徴という色を着る気になれないし、一回しか着ないというのは環境にも悪い」というものだ。

ニューヨークでは、こうした若い人たちの声を聞いて、クオモ州知事が、プラスチック袋を禁止する予算案を出した。デブラシオ市長も年頭演説で、今年半ばには、発泡スチロールの容器を禁止する方針を発表した。

「ミレニアル」、そしてその子供たちは、自分たちが末長く生きていける地球環境を守っていこうという意識がとても強いと感じる。人生100年ならば、自分もまだ半世紀は生きることができのかもしれない。だから、彼らとともに、マイバッグ、マイボトル、マイチョップスティックス（箸）を持って歩こうと思う。



マイボトルを持ち歩くニューヨーカー。



ビールはガラス瓶を使用するメーカーが多い。

WEB オンリーの対談コンテンツ
ホッピー 3 代め、石渡美奈が出会ったニューヨーカー

「F」
NEW YORK / F-TALK

Vol. 5
MINA ISHIWATARI
SHINTARO OKAMOTO

福岡生まれ、アラスカ育ちの水彫刻家、岡本慎太郎さん。2003 年、父親の武夫さんと一緒に
ニューヨークで水彫刻スタジオ「Okamoto Studio」を創設した。
アーティスト、そして経営者として、水彫刻の新しい可能性に挑む岡本さんと、
3 代め 石渡美奈がホッピーを片手に語り合った。

続きは WEB で！



www.hoppy-happy.com/
for-society/f-talk/vol-05/

(((地球)))

HOPPY NEWS

2019

ホッピービバレッジにまつわるニュースを
ダイジェストでお届け。

NEXT



ついにオープン！ 犬島ホッピーバー

今年は、3 年に 1 度、瀬戸内海の 12 の島と 2 つの港を舞台
に行われる現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」の開催年。
会場の島のひとつである犬島では、古民家を利用した「犬島ホッ
ピーバー」が、4/26 の開幕に向けて近日オープン予定です！

NEXT



スーパーGT 2019年シリーズ、初戦は4/13!!

スーパー GT 2019 シリーズが開幕、ホッピービバレッジがメ
インスポンサーをつとめる、つちやエンジニアリングの「#25
HOPPY 86 MC」が 4/13 と 14 の両日、岡山国際サーキ
ットで初戦を走ります！今シリーズの応援もよろしくお願いいたします！



Happy Wedding with Hoppy Family!

1/27、ホッピービバレッジ営業部、関 祐希が榎 郁美さん
と結婚披露宴を挙げました。幸せいっぱいの笑顔でこの日
を迎えた 2 人の新しい門出をホッピーファミリーでお祝いでき
たことを嬉しく思います。いつまでもお幸せに！

NEXT



殺陣波濤流NY 5周年記念演武会

4/28、殺陣波濤流ニューヨークの 5 周年記念演武会がマ
ンハッタンにあるジャパン・ソサエティにて行われます。ホッ
ピービバレッジもホッピーとホッピーブラックを会場で振る舞
い、お祝いをいたします。

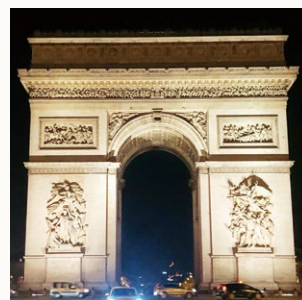
タイムリーなニュースは公式ウェブサイトやフェイスブックページなどでも随時アップデートしています。
●www.hoppy-happy.com ●www.facebook.com/HoppyBeverage

Follow me on
Instagram



@iminahoppy

ホッピー 3 代め、CEO 石渡美奈の公式インスタグラムアカウントはこちら。
「空飛ぶ看板娘 ホッピーミーナ」のニックネームを持つ石渡のパーソナルな一面も覗けます。



Hoppy
★ MAGAZINE ★

ホッピーマガジン 第55号（通算56号）2019年3月発行

EDITOR IN CHIEF

Mina Ishiwatari

編集長：石渡美奈

CREATIVE DIRECTOR

Fuko Chubachi

MANAGING EDITOR

Kei Itaya

ART DIRECTOR

Yuki Imaizumi, Asami Sato

PUBLISHER

Hoppy Mina / ホッピーミーナ

Production by 3 DAY MONK

CONTRIBUTORS

NiRai, Toshiya Saito, Kazumi Kabumoto,
Keiko Tsuyama, Lisa Kato

Editor's Note

編集後記

昨夜、港区立檜町小学校の同窓会でした。『リトルガールズ』で第34回太宰治賞を受賞した同級生、錦見映理子ちゃんのお祝い同窓会。昼の12時から始まり解散は日付が変わった12時45分。私が参加できたのは18時30分からの第3部から締めくくりの第5部まで。12時間同窓会が標準になりつつある我ら、来年は私もコンプリートで参加します。ふっふっふ。バブル世代は元気でございますヨ！(HP37)



明日の明るさにホッピー

www.hoppy-happy.com

Instagram @HoppyBeverageCo #HappyHoppy | Official Facebook Page @HoppyBeverage & @HoppyBeverageCo | Twitter @HoppyBeverageCo